

第 3 章

地域別構想 ～地域別の目標と方針～

1. 北部地域	…64
2. 中部地域	…72
3. 南部地域	…80

第3章では、本市を3つの地域に区分し、それぞれの地域特性に合わせた目標や方針を示します。

■地域区分の考え方

地域別構想では、全体構想における方針を踏まえた上で、地域の実情（強み・弱み等）に応じた地域づくりの目標や方針を定めていきます。

地域区分は、地理的条件や人口、交通事情等に加え、地域としてのつながりを考慮し、中学校区をベースとした以下の3つの地域に分類します。



北部地域	富里北中学校区（日吉台小）
中部地域	富里中学校区（富里小・富里第一小・根木名小・七栄小）
南部地域	富里南中学校区（富里南小・浩養小）

コラム⑤ 地域別懇談会を開催し、みなさまのご意見を伺いました

市民参加による地域別懇談会を全3回開催し、多くのみなさまにご参加いただきました。地域それぞれの課題や目指すべき方向性について、ワークショップ形式での意見交換を行い、それらを踏まえた方針の検討を行いました。



	開催日時・場所	内 容	参加人数
第1回	北部：H29.11月11日（土）13：30～ 日吉台小学校 2階多目的室	『各地域の現状と課題』 ●都市計画マスタープラン改定の趣旨説明 ●地域の概況の説明 ●ワークショップ “地域の良いところ（特性・特色）、改善すべきところ（問題・課題）”	13
	中部：H29.11月12日（日）9：30～ すこやかセンター 2階会議室 1		16
	南部：H29.11月12日（日）13：30～ すこやかセンター 2階会議室 1		7
第2回	北部：H29.12月16日（土）13：30～ 富里消防署北分署 2階講堂	『地域づくりの目標』 ●第1回懇談会のまとめ ●地域づくりの目標・方針（たたき台）の説明 ●ワークショップ “地域として注力すべきこと”	13
	中部：H29.12月17日（日）9：30～ 中央公民館 4階大会議室		14
	南部：H29.12月17日（日）13：30～ 中央公民館 4階大会議室		5
第3回	北部：H30.4月21日（土）13：30～ 北部コミュニティセンター 1階研修室	『地域づくりの基本方針』 ●第2回懇談会のまとめ ●地域づくりの基本方針（案）の説明 ●意見交換	14
	中部：H30.4月22日（日）13：30～ すこやかセンター 2階会議室 1		19
	南部：H30.4月22日（日）9：30～ すこやかセンター 2階会議室 1		7

1. 北部地域

1-1 北部地域の現状

北部地域は、日吉倉・日吉台地区にあたる地域で、成田市に接し、東部に根木名川が北に向かって流れています。

成田市中心部の鉄道駅に近接しているという立地から、大規模な住宅団地の開発による都市化が進んでいます。

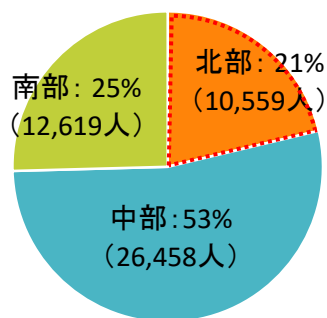
市内でも人口が集積し、生活利便性も高く、古くからの集落と自然、緑が共存する地域となっています。



(1) 人口動向

北部地域の人口は、市全体の21%を占めており、面積に対する集積率は比較的高い地域となっています。人口の推移では、2005年の11,630人をピークに減少傾向に転じており、2015年には10,559人となっています。

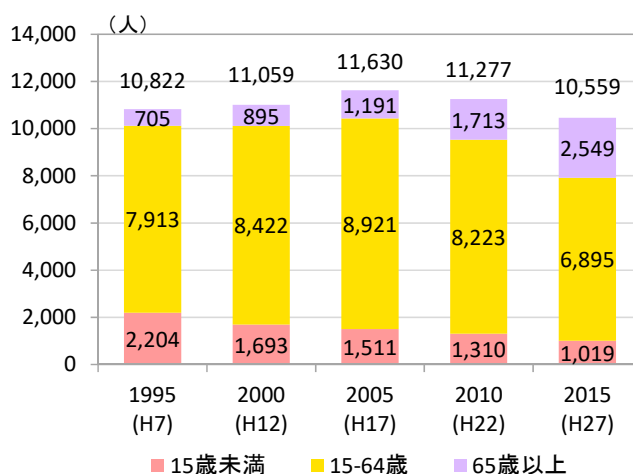
■ 2015年北部地域人口が占める割合



	総人口	面積	人口密度
全市	49,636人	5,388ha	9.2人/ha
北部	10,559人	276ha	38.3人/ha
中部	26,458人	2,368ha	11.2人/ha
南部	12,619人	2,744ha	4.6人/ha

出典: 2015年国勢調査

■ 北部地域の年齢3区分別の人口推移



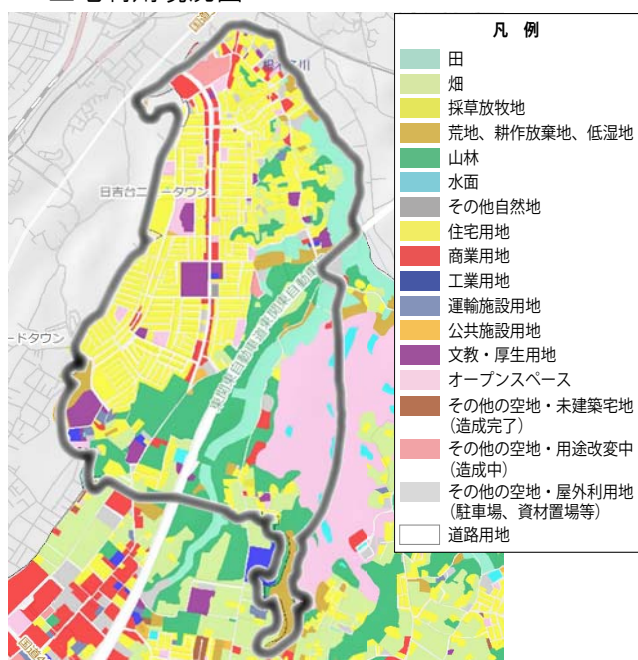
出典: 1995年～2015年国勢調査

(2) 土地利用

土地利用は、都市計画道路成田七栄線沿線に商業施設や小学校、コミュニティセンター等の日常生活に必要な施設が集積し、その背後に住宅地が形成されています。

また、日吉台地区に隣接する日吉倉地区には、古くからの集落があり、その東を流れる根木名川沿いには田畑が多く分布し、農村集落が点在しています。

■ 土地利用現況図



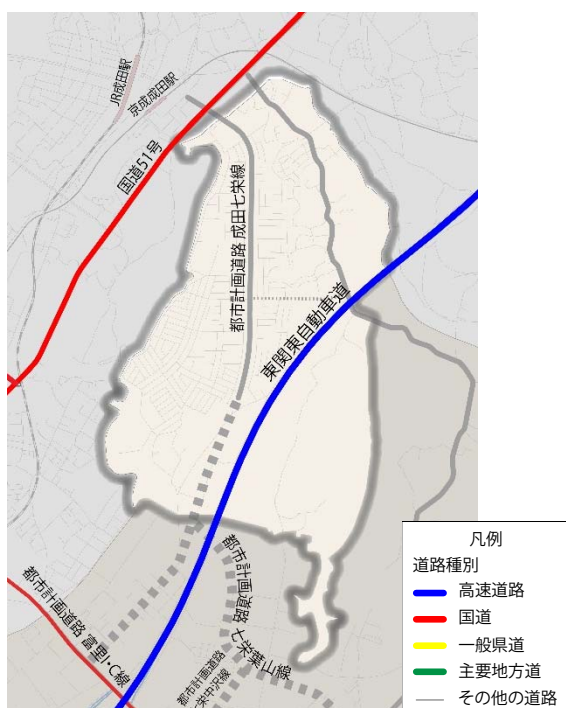
出典：2016年都市計画基礎調査

(3) 交通状況

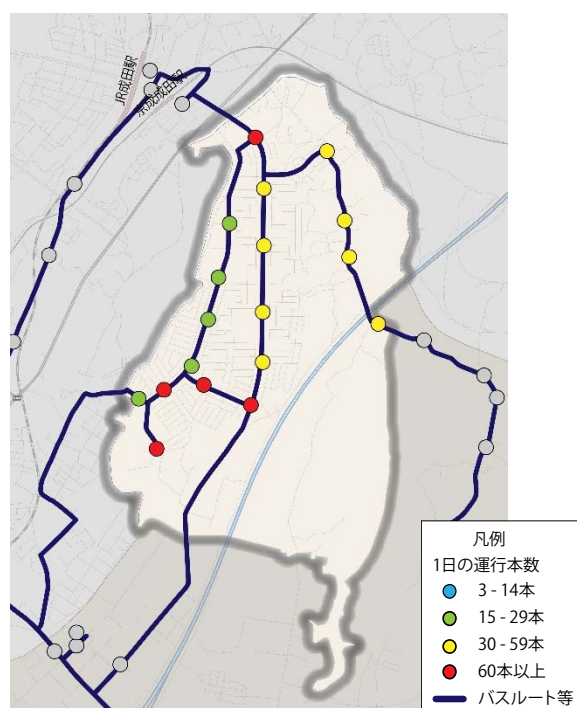
道路網では、富里IC周辺から北部地域、成田市までを結ぶ都市計画道路成田七栄線が本地域の主軸となっています。

バス路線では、成田駅方面や市役所方面を結ぶ路線が運行しており、1日に往復30本以上運行されています。

■ 道路網



■ バス網



(4) 地域資源

商店会や自治会等が中心となり、とみ市やひよし青空市が開催されています。また、日吉倉地区が主催する、五穀豊穡を祈願した太子山への奉納花火等も開催されており、地域が主体となった交流の場がつけられています。

とみ市
(毎月1週目の日曜日に開催)



写真出典：富里市観光協会

ひよし夏祭り



写真出典：日吉台1丁目 自治会ブログ



ひよし青空市



写真出典：ひよし商店会HP

太子堂 (日吉倉太子山祭礼奉納花火)



写真出典：富里市

久能カントリー倶楽部

地域別懇談会での市民の声

コミュニティを維持していくためには交流の場が重要！

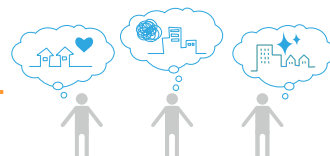
- 北部コミュニティセンターは利用率が高く、うまく活用されている一方で、老朽化や駐車場の少なさが課題となっています。
- 商店会や NPO 団体等が様々な事業に取り組んでおり、(都) 成田七栄線の整備に合わせた沿道活性化も含めて行政からのバックアップが望まれます。

若者が住みたいと思えるまちづくりが重要！

- 空き家が徐々に増えており、利用促進・住み替え促進につながる取組が必要です。
- 成田空港の機能強化 (雇用の拡大) の受け皿となることが望まれます。

高齢化の進行に対応できる環境や体制づくりが重要！

- 高齢化が進行する中でも支え合いが可能なコミュニティを形成していくため、憩いの場や福祉施設の充実、市民活動の活性化を図ることが望まれます。



(5) 北部地域の課題

課題1：人口構成の変化を踏まえた高齢化への対応と若者の転入促進

○高齢化が進行する中でも支え合いが可能なコミュニティを形成していくことが必要です。

○活力あるコミュニティを維持していくためには、若者のニーズにあった住宅供給が必要です。

課題2：地域の主軸である都市計画道路成田七栄線沿線の安全性・利便性向上

○地域の主軸となっている都市計画道路成田七栄線の未整備区間の早期供用開始に併せ、沿道の活性化と生活道路としての安全性向上を図っていくことが必要です。

課題3：地域コミュニティの活性化に向けた交流機会の充実

○北部コミュニティセンターや日吉台中央公園等、地域コミュニティの中心となっている施設を活かし、交流の機会を充実していくことが必要です。

1-2 地域づくりの目標

【北部地域の目標】

みんなの笑顔をついに！多くの人が集い、にぎわう、活気あふれるまちづくり

方針1：若者から高齢者まで誰もが住み続けたいと思える環境づくり

高齢化が進行する中でも支え合いが可能なコミュニティを形成していくため、憩いの場や福祉施設の充実、市民活動の活性化を図るとともに、若者を中心とした転入促進に向けて空き家等の活用促進を図るなど、多様なニーズに対応できる居住環境の形成に努めます。

方針2：インフラ整備の促進による安全性・利便性の向上

都市計画道路成田七栄線の整備に合わせた沿道の活性化、生活道路としての安全性向上に努めるとともに、下水道等の供給処理施設についても、適正な維持管理、利便性向上を図ります。

方針3：既存施設等を活かした交流の場の充実

北部コミュニティセンターや日吉台中央公園等の更なる活用に向け、民間駐車場対策を図るなど、施設周辺の土地利用も含めた利便性の向上に努めます。

1-3 地域づくりの方針

(1) 拠点の方針

地域拠点 (日吉台地区)	○成田市中心部に近接し、鉄道駅や幹線道路、空港等への交通アクセス性を活かした生活利便性の高い拠点を形成します。
観光・交流拠点	○日吉台中央公園でのイベント開催、日吉台小学校の余裕教室を地域に開放しコミュニティの場として活用、北部コミュニティセンターの活用促進など、多様な交流の場や機会の創出に努めます。 ○谷間の斜面緑地の保全を図るとともに、自然の中でスポーツを楽しむレクリエーションの場として、既存ゴルフ場周辺の維持・活用を図ります。

(2) 土地利用の方針

住宅地・集落地	○日吉台地区・日吉倉地区の住宅地では、ゆとりある良好な住環境を保全します。特に、都市的居住空間（成田市中心部に近接する地域）については、首都圏の業務核都市としての役割を担うとともに、高度利用の可能性も含めた適正な開発、誘導を図っていきます。 ○人口減少や高齢化の進行に伴い増加が見込まれる空き家について、適正な維持管理や移住・定住促進に向けた支援体制の充実を図ります。
商業・業務地	○日吉台地区の商業地については、商業機能の維持・充実に向けた土地利用の誘導を図ります。 ○都市計画道路成田七栄線沿道では、周辺の居住環境との調和を図りつつ、商店会等の地元団体との協働による地域の活性化を図り、生活利便施設の充実に努めるとともに、駐車場対策など、商業地としての利用環境の向上を図ります。
自然・農地	○市街地周辺の優良な農地については、市街地との共生や調和に配慮しながら、農地としての機能維持に努めます。

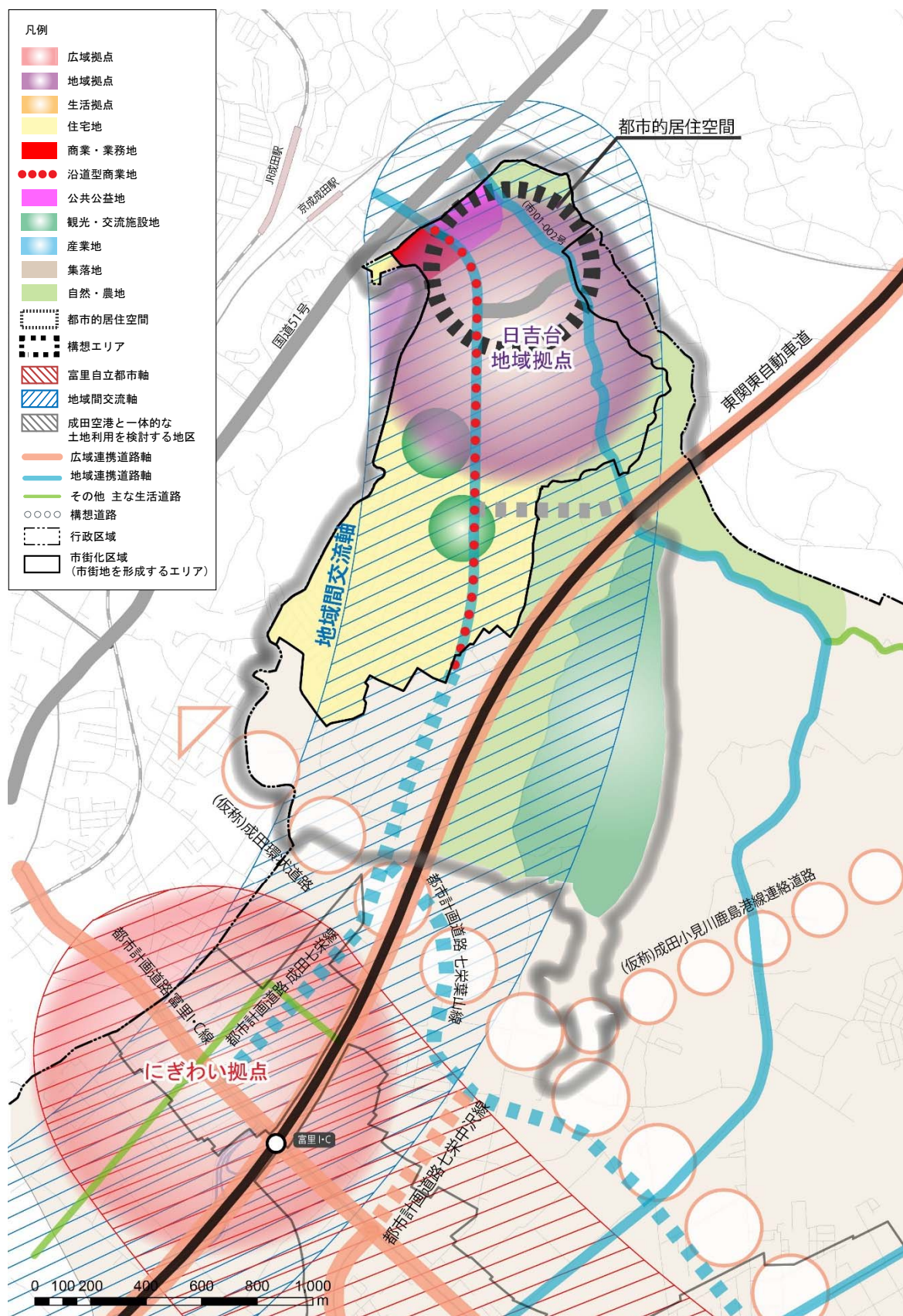
(3) 都市施設の方針

交通施設	○都市計画道路成田七栄線の未整備区間については、北新木戸土地区画整理事業の進捗に合わせ事業を進め、日吉台地区と七栄地区のアクセス性を高めるため、早期供用を目指します。 ○生活道路については、舗装、線形、幅員等の改良に努めるとともに、交通安全対策を講じます。 ○公共交通については、既存バス路線の維持・拡充、さとバス・デマンド交通では、利用実態や利用者ニーズを踏まえた運行形態・路線の見直しに努めます。
供給処理施設	○公共下水道全体計画区域外については、合併浄化槽の設置促進を図ります。 ○市道については、路面排水施設の改善・整備を促進します。 ○市営水道については、安全で良質な水道水の安定供給に向け、管路の更新、耐震化を進めます。

(4) 地域間連携に向けた方針

地域間交流軸	○日吉台地区から富里IC周辺のにぎわい拠点間においては、閑静な住宅街と沿道型商業、レクリエーション施設等の機能が集積する利便性の高い軸状空間の形成を進めるとともに、市街化調整区域の区間においても、地域軸としての連続性確保に向け、適切な沿道利用を図ります。
--------	--

■ 北部地域のまちづくり方針図



コラム⑥ 様々な形で富里の魅力を発信していきましょう！



情報通信技術の発達により、誰もが簡単に様々な情報を発信、入手でき、情報の量と種類が飛躍的に増加しています。

市では、富里市在住、在勤・在学及び富里市に関心のある人達が、富里の魅力を共有してコミュニケーションを図る場をつくり、また、市内外に魅力的な地域資源を発信していくことを通じて、新たに富里へ関心を持つ人を増やしていくことを目指しています。

ぜひ、フェイスブックやインスタグラム、ツイッター等の SNS(Social Networking Service)の公式アカウントをフォローして参加して下さい。また、皆さんからの投稿もお待ちしております！



◆フェイスブック

実名登録とリアルなつながりが推奨されている SNS です。

アカウント名：とみさと市民活動サポートセンター

富里いいね(ハッシュタグ富里いいね)で、富里関連の画像を検索できます



◆インスタグラム

画像共有に特化した SNS です。

アカウント名：tomisapo

富里いいね(ハッシュタグ富里いいね)で、富里関連の画像を検索できます。



◆ツイッター

140 文字以内の短い投稿（ツイート）を入力して、みんなで共有する SNS です。

アカウント名：tomichan_103

2. 中部地域

2-1 中部地域の現状

中部地域は、久能、大和、根木名、七栄、新橋、中沢、新中沢、美沢及び立沢の一部地区にあたる地域で、成田市や八街市、酒々井町に接し、北部には根木名川及びその支川、西部には高崎川及びその支川の谷津に水田が連なっています。

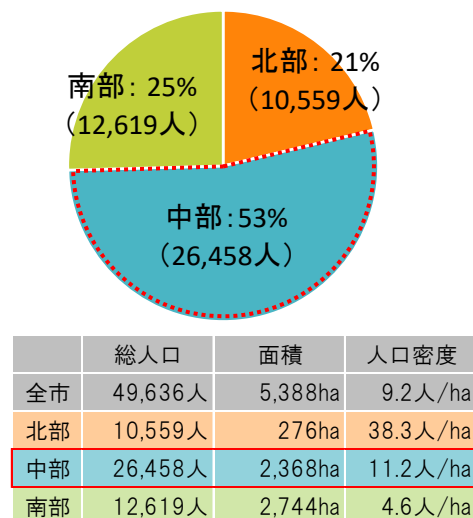
富里ICから市役所に至る国道沿いを中心に商業施設が立地し、背後には低層住宅地が広がるとともに、谷津田などの自然や農地が混在する地域となっています。また、市役所をはじめ、公民館や図書館、総合公園、更には工業団地も整備され、行政、文化の中心となる地域です。



(1) 人口動向

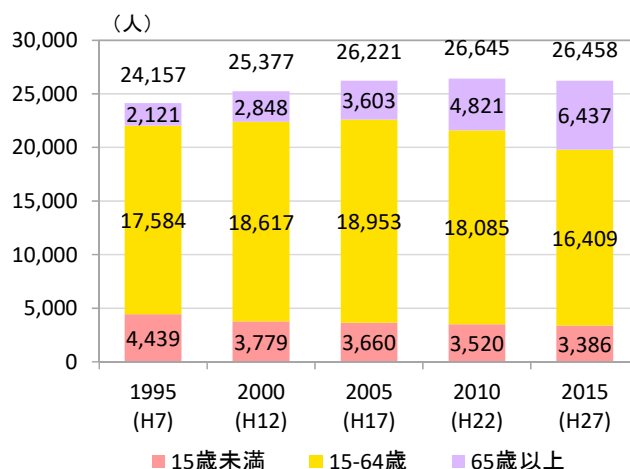
中部地域の人口は、市全体の53%と半数以上を占めており、市役所周辺や富里IC周辺等の市街化区域内に人口が集積するほか、市街化調整区域においても小学校等を中心として集落が形成されています。人口の推移では、2010年の26,645人がピークとなっており、2015年は26,458人と微減しています。

■ 2015年中部地域人口が占める割合



出典：2015年国勢調査

■ 中部地域の年齢3区分別の人口推移



出典：1995年～2015年国勢調査

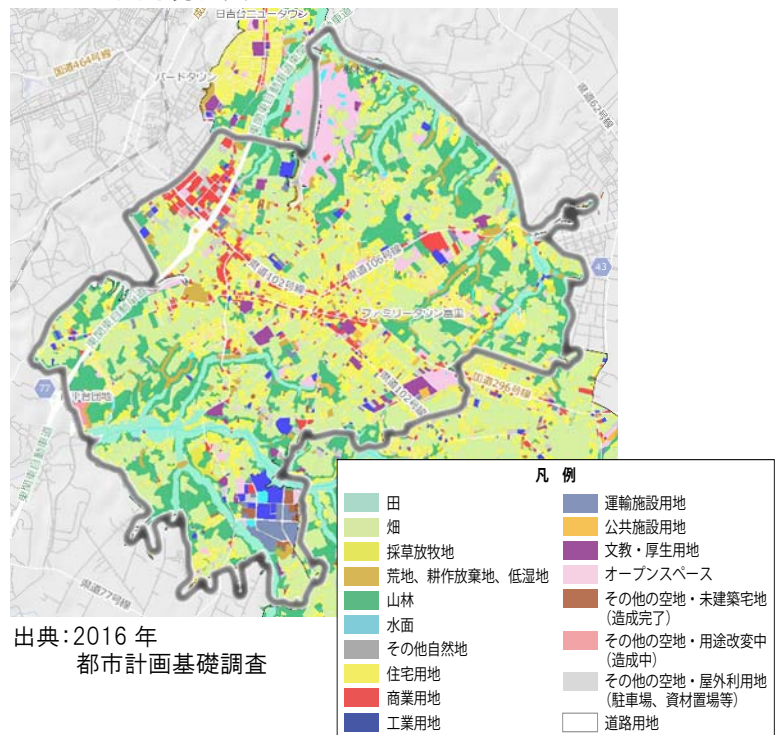
(2) 土地利用

富里IC周辺や県道成田両国線沿道には商業施設が集積するほか、市街化区域とその縁辺部に住宅地が集積しています。

市街化調整区域は農地が広く分布する中で、大規模な住宅団地も多数点在しています。

また、根木名川や高崎川その支川の谷津には水田が連なり、斜面には緑地が形成されています。

■ 土地利用現況図

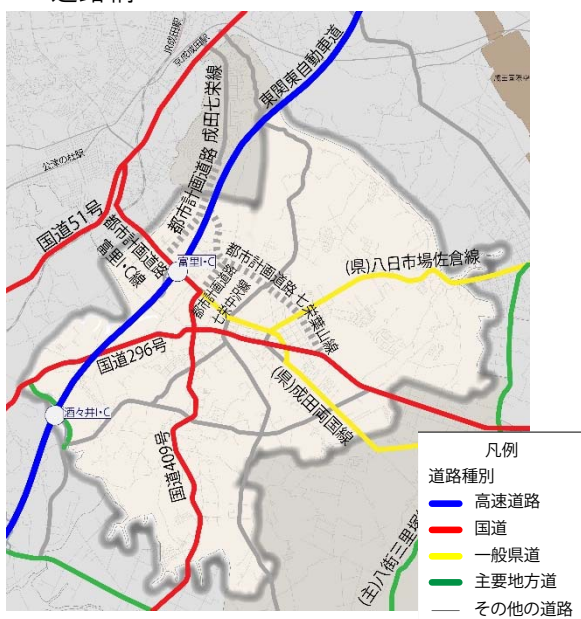


(3) 交通状況

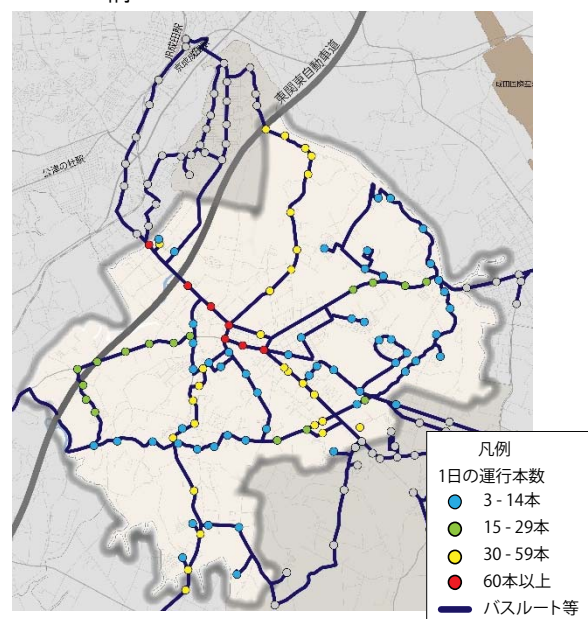
道路網では、国道296号、国道409号や県道成田両国線が地域内外を結ぶ本地域の主軸となっています。

バス網（デマンド交通を含む）は、住宅地が形成されている地域を中心に運行されており、成田方面と富里市中心部の本数は比較的多くなっていますが、中心部以南の地域では運行本数は少なく、利便性の低い地域となっています。

■ 道路網



■ バス網



(4) 地域資源

旧岩崎家末廣別邸や久能獅子舞、中沢麦つき踊り等、文化財に指定されている資源を多数有するとともに、すいかまつり、スイカロードレース大会等の市内外から多くの人が参加するイベントも多数開催されています。

久能獅子舞（駒形神社）



七栄親子まつり



写真出典：富里市

新橋観音堂祭礼花火



写真出典：富里市

中沢麦つき踊り
（稲荷神社）

旧岩崎家末廣別邸



写真出典：富里市

すいかまつり



写真出典：千葉県公式観光情報サイト

スイカロードレース大会



写真出典：富里市

地域別懇談会での市民の声

地域特性に応じた拠点の形成、生活利便性の向上が重要！

- 中部地域の西側については、酒々井町や市中心部とのアクセス性向上に加え、市内外の人が立ち寄れる拠点を形成することが望めます。
- 中部地域の東側については、成田市や市中心部とのアクセス性向上、日常生活サービス施設や交流の場の充実を図ることが望めます。
- 道路沿道の草刈など、適正な維持管理による安全性向上が必要です。
- ドア to ドアのデマンド交通を運行できると高齢者の引きこもりが抑制できるのではないのでしょうか。

地域資源の活用と自然環境の保全による地域活力の向上が重要！

- 空き家や空き地を上手く活用し、転入促進や道の駅等の拠点形成につなげることが望めます。
- 旧岩崎家末廣別邸周辺の拠点化など、文化財を上手く活用することが望めます。
- イベント等の開催に合わせ、公共交通等の移動手段の確保も検討が必要です。



(5) 中部地域の課題

課題1：それぞれの地域が有する資源や特性を活かした地域活力の向上

○旧岩崎家末廣別邸周辺の観光・交流拠点化と新たな工業拠点・開発構想拠点の形成など、地域特性に応じ、地域の活力の向上につながる拠点の形成を検討していくことが必要です。

課題2：公共交通が不便な地域やインフラの老朽化が進む地域等の解消

○利用者ニーズを踏まえた公共交通の運行形態や路線の見直し、地域によって整備状況や老朽化に差がみられる下水道等の利便性向上に努めることが必要です。

課題3：低・未利用地（空き地、空き家、耕作放棄地、荒地等）の有効活用

○Ｉターン・Ｕターン等の転入促進につながるよう、今後更に増加が見込まれる空き地や空き家、耕作放棄地、荒地等を有効活用していくことが必要です。

2-2 地域づくりの目標

【中部地域の目標】

更なる高みを目指して！ 暮らしやすい、働きやすい、訪れたいまちづくり

方針1：更なる生活利便性向上に向けた拠点機能の充実と新たな拠点の形成

市役所周辺や富里IC周辺等、すでに多くの機能が集積している拠点については、更に利便性が高く、魅力的な拠点となるよう機能強化を図っていきます。また、市街化調整区域についても、地域活力の維持・向上に向け、交流促進や産業振興につながる新たな拠点の形成を検討していきます。

方針2：地域間のつながり強化に向けたアクセス性の向上、周遊促進

広域的な道路ネットワークの充実による物流等の通過交通の処理機能向上や、地域の骨格となる都市計画道路や主要地方道、県道の安全性向上に努めます。また、既存バス路線の維持・拡充に加え、利用者ニーズに合った運行形態や路線への見直しに努めます。

方針3：地域資源（歴史・文化資源、農地、空き家等）の有効活用

旧岩崎家末廣別邸等の歴史・文化資源を活用し、交流促進を図っていきます。また、今後増加が見込まれる空き家や耕作放棄地については、Ｉターン・Ｕターン等の転入促進につなげ、有効に活用するための支援体制や仕組みづくりに努めます。

2-3 地域づくりの方針

(1) 拠点の方針

広域拠点： ふれあい拠点 (富里市役所周辺)	○行政・文化・福祉の拠点として、既存施設の機能強化を図るとともに、今後の高齢化に対応した健康づくりに寄与する医療・福祉施設等の充実、世代を越えた交流の場として魅力的な拠点を形成します。
広域拠点： にぎわい拠点 (富里IC周辺)	○本市内外を結ぶ広域的な拠点として、商業などの産業系機能の集積を図り、多くの人が訪れ、交流する、にぎわいのある拠点を形成します。
広域拠点： とみさと中心拠点 (七栄地区周辺)	○他の広域拠点や市内各地、周辺の鉄道駅を結ぶ交通結節点としての利便性の高さを活かし、歩行空間の確保等による周遊性のあるまち並みを形成します。
生活拠点： 根木名地区	○根木名小学校区の地域コミュニティを維持していくため、日常生活サービス機能の充実を図ります。
生活拠点： 中沢地区	○富里第一小学校区の地域コミュニティを維持するとともに、酒々井町と本市の中間に位置する市有地の活用による拠点性の向上を図ります。
観光・交流拠点	○交流人口の拡大に向け、旧岩崎家末廣別邸の周辺に本市の文化や自然、農業とのふれあいの場の整備を図ります。 ○富里中央公園や新木戸大銀杏公園の更なる利活用に向けた機能充実を図ります。
成田空港と一体的な土地利用を検討する地区	○成田空港の機能強化に対する受け皿として、住宅、流通、商業業務、宿泊、レクリエーション等の複合的な土地利用を検討します。

(2) 土地利用の方針

住宅地・集落地	○まともりのある住宅団地については、ゆとりをもった良好な居住環境の保全と充実を図ります。 ○根木名地区、中沢地区などの農家住宅を中心とする集落地は、居住環境と営農環境の調和を図りつつ、地域コミュニティの維持に向けた住環境の維持・充実を図ります。 ○人口減少や高齢化の進行に伴い増加が見込まれる空き家について、適正な維持管理や移住・定住促進に向けた支援体制の充実を図ります。
商業・業務地	○富里ⅠＣ周辺の更なる利便性向上に向け、商業機能、金融機関や事務所等の業務機能・流通機能等を複合的に誘導します。 ○幹線道路沿道では、空き店舗等の利用促進を含めた生活利便施設の充実を図ります
産業地	○富里第二工業団地は、今後も地域を支える産業拠点として、周辺環境との調和のとれた働きやすい環境の維持を図ります。 ○酒々井ⅠＣ周辺は、周辺市町との連携による地域経済の発展を促進する拠点として位置付けます。
自然・農地	○畑地や水田などの農地については、農業生産基盤の充実を図るとともに、富里固有の環境資源や景観資源として土地の有効利用と美しい地域環境づくりに努めます。 ○耕作放棄地の拡大防止や農業者の高齢化対策として、農地の集積や農村環境の保全に努めます。 ○根木名川沿いのサイクリングロード化や自然保護活動団体との協働によるホタルの育成、社寺等の地域資源の活用などにより、自然とふれあい、親しむことができる空間づくりに努めます。

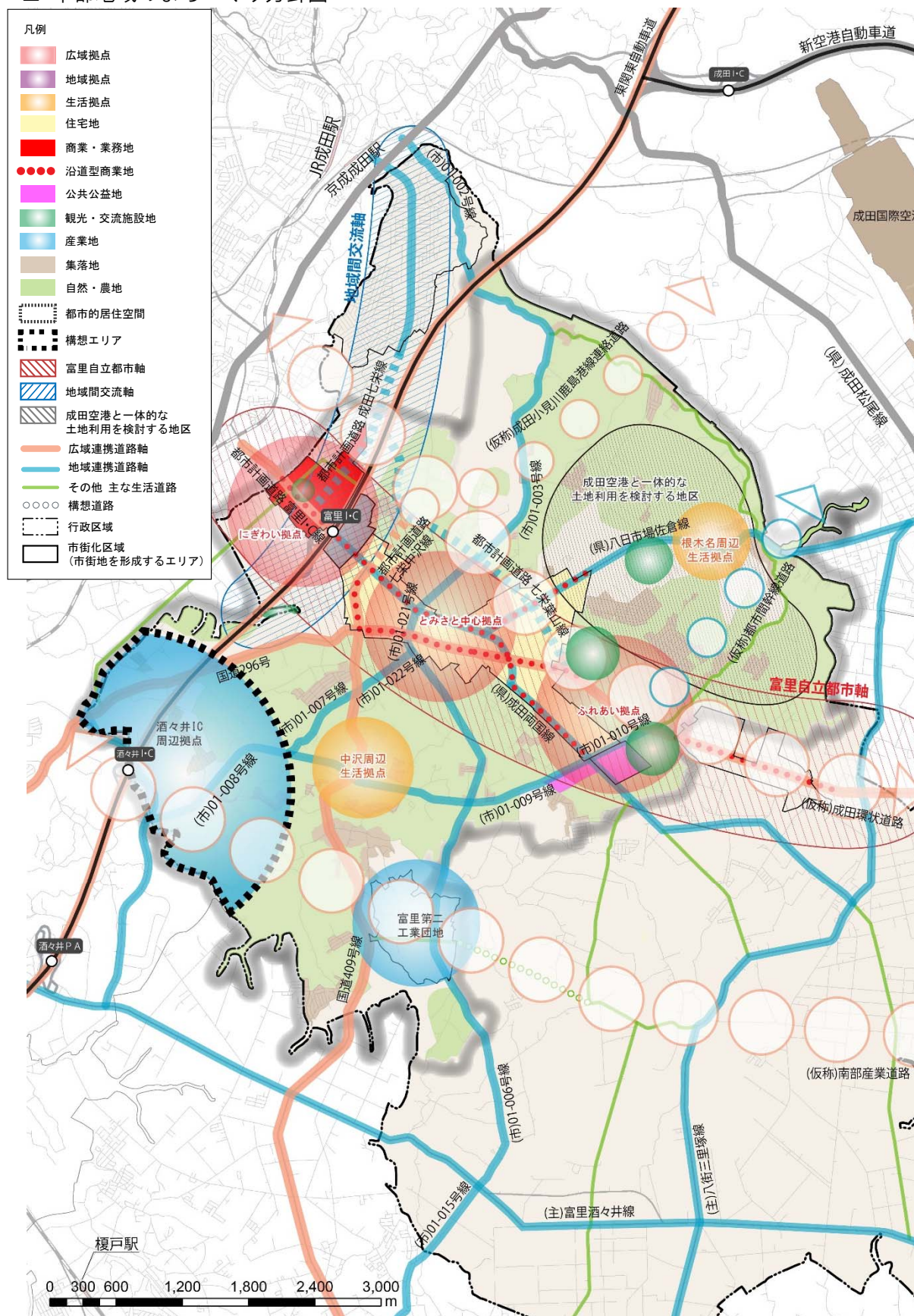
(3) 都市施設の方針

交通施設	○成田都市圏としての広域的な道路ネットワークの形成に向け、(仮称)成田環状道路等を位置付け、整備に向けて関係機関と協議し、検討していきます。 ○成田空港や東関道にアクセスする幹線道路の充実による物流等の通過交通の処理機能向上を図るため、(仮称)都市間幹線道路、(仮称)成田小見川鹿島港線連絡道路を位置付け、新規路線の市内誘致・整備を関係機関と協議し、検討していきます。 ○市内の主要な地点を結ぶ、地域の骨格となる都市計画道路や県道については、拡幅整備・線形改良等による円滑な交通処理や歩行者の安全性確保に努めます。 ○公共交通については、既存バス路線の維持・拡充、さとバス・デマンド交通では、利用実態や利用者ニーズを踏まえた運行形態・路線の見直しに努めます。
供給処理施設	○公共下水道全体計画区域外では、合併浄化槽の設置促進を図ります。 ○市道については、路面排水施設の改善・整備を促進します。 ○市営水道については、安全で良質な水道水の安定供給に向け、浄配水施設、管路の更新、耐震化を進めます。

(4) 地域間連携に向けた方針

富里自立都市軸	○にぎわい拠点やとみさと中心拠点、ふれあい拠点を結ぶ一体の地域については、沿道型商業施設や業務施設を誘導するとともに、その周辺に閑静な低層住宅地を形成し、にぎわいのある日常生活の自立が可能な生活圏の形成を図ります。
-----------------------	---

■ 中部地域のまちづくり方針図



3. 南部地域

3-1 南部地域の現状

南部地域は、立沢の一部、立沢新田、高野、高松、十倉及び御料地区にあたる地域で、八街市や山武市、芝山町に接し、本市の基盤産業である農業を支える肥沃な農地や自然環境を広く有しています。

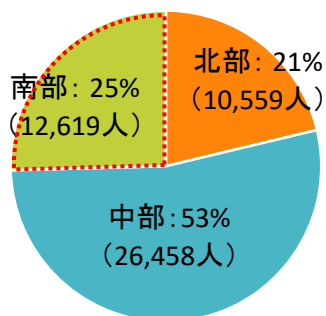
地域の大半が市街化調整区域であり、農業振興地域の指定範囲も広いことから、大きな開発や商業施設はなく、生活利便施設が枯渇し、市内でも人口減少、少子高齢化が著しく進行している地域となっています。



(1) 人口動向

南部地域の人口は、市全体の25%を占めています。人口の推移では、2000年の13,740人をピークに減少傾向で推移しており、2015年には12,619人となっています。

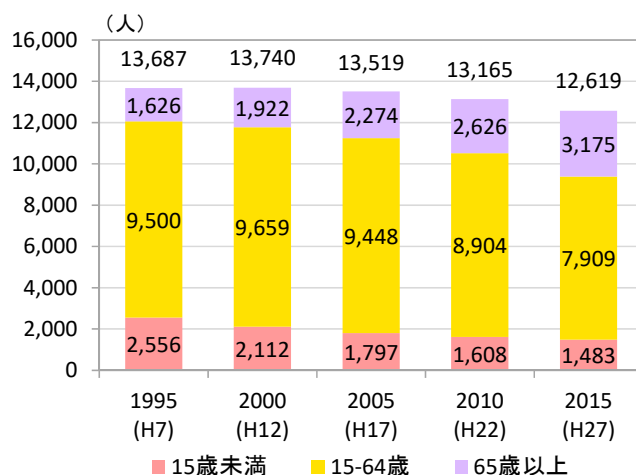
■ 2015年 南部地域人口が占める割合



	総人口	面積	人口密度
全市	49,636人	5,388ha	9.2人/ha
北部	10,559人	276ha	38.3人/ha
中部	26,458人	2,368ha	11.2人/ha
南部	12,619人	2,744ha	4.6人/ha

出典：2015年国勢調査

■ 南部地域の年齢3区分別の人口推移



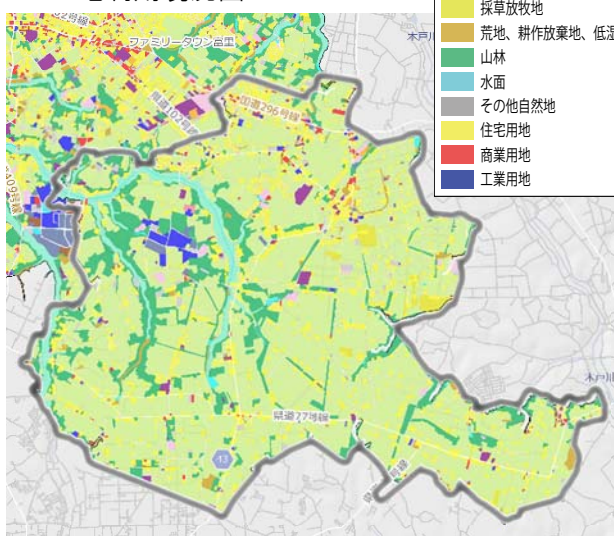
出典：1995年～2015年国勢調査

(2) 土地利用

北西部の高崎川沿いの谷津に水田と斜面緑地があり、台地部の多くは田畑となっています。

葉山地区や両国地区において比較的住宅地や商業施設が集積しているほか、小学校等の周辺に住宅地が点在しています。

■ 土地利用現況図



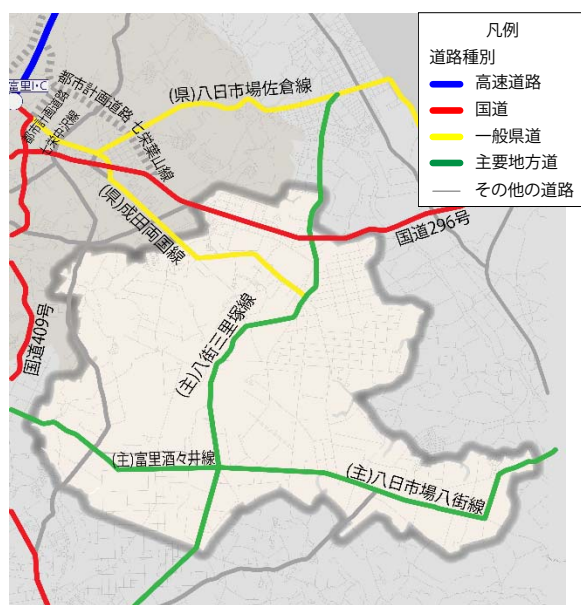
出典:2016年都市計画基礎調査

(3) 交通状況

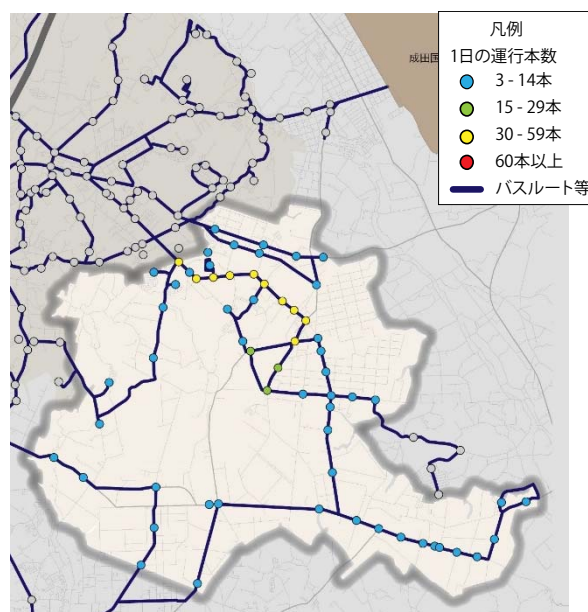
道路網では、主要地方道や県道等が地域内外を結ぶ主軸となっていますが、幅員の狭い道路も多く、安全性の向上が課題となっています。

バス網(デマンド交通を含む)は、面的にカバーはされていますが、1日の運行本数は3~14本程度と少ない地域が多く、他地域に比べると利便性は低く、公共交通空白地域もみられます。

■ 道路網



■ バス網



(4) 地域資源

スイカロードレース大会やにんじんウォーク、スイカオーナー制度など、農産物を活かした交流イベントが盛んに行われているほか、競走馬のふるさと案内所千葉連絡センター等の馬のふるさとの地を象徴する施設を有しています。

また、廃校となった旧洗心小学校を、地域コミュニティの維持に向け、今後も有効に活用していくことが課題です。

スイカロードレース大会



写真出典：富里スイカロードレースHP

にんじんウォーク



写真出典：富里市

スイカオーナー制度



写真出典：富里市



競走馬のふるさと案内所
千葉連絡センター



写真出典：富里市

富里牧羊場跡



写真出典：富里市

旧洗心小学校



写真出典：富里市

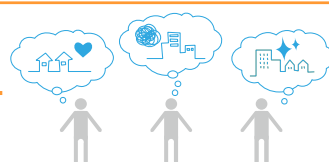
地域別懇談会での市民の声

農業ブランド力向上に向けた付加価値の創出が重要！

- 農業をやりたいと思う若者（後継者）を確保するためには、農業で生計を立てられるという認識を持つことが重要であり、農業塾等の開講による経営力の向上や、小規模な有機農家、新規就農者への支援を強化することが望まれます。
- 生産者が消費者と直接つながりニーズを把握すること、訪れる⇒食べる⇒買うのサイクルを創ることが重要であり、農家の自宅を回り食するスタンプラリー（MAP）の実施、多くの人々が訪れやすい産直施設の整備等を検討することが望まれます。

協働のまちづくりに向けた体制強化が重要！

- インフラの整備がなされても、それを地域や市民としてどう活用するかが重要です。
- 人と人をつなぎ、連携できる仕組みづくりが重要であり、連携が期待できる人や団体をリストアップできると良いのではないのでしょうか。



(5) 南部地域の課題

課題1：基幹産業である農業生産の底上げ

○人口減少・少子高齢化により、農業従事が更に困難になることから、これまで以上に農家と行政がそれぞれの役割に応じて、連携を図りながら農業振興に努めていくことが必要です。

課題2：生活と産業の両面の環境向上に資するインフラ等の充実

○流通の根幹を担う道路整備を促進し、産業と地域の生活面から安全性の向上や地域の活力向上に向けた取組が必要です。

課題3：地域コミュニティの維持向上に資する交流の核となる場所の形成

○地域の人が集いやすくなる仕組みづくり、地域外の人を訪れる仕組みづくりが必要です。

3-2 地域づくりの目標

【南部地域の目標】

未来へつなげる力を！人と大地が織りなす交流のまちづくり

方針1：富里ブランドの開発と普及に向けた環境づくり

農業や工業等、本市の産業を支えている地域として、担い手の育成や確保、ブランド力の向上を図るとともに、普及に向けた連携体制の充実等に努めます。

方針2：インフラ整備の促進による安全性・利便性の向上

幹線道路の整備促進により、生活道路と産業道路の役割分担を明確化し、流通機能の向上、生活道路の安全性向上を図ります。また、既存バス路線の維持・拡充に加え、利用者ニーズに合った運行形態や路線への見直しに努めます。

方針3：既存施設の有効活用による地域の交流拠点の形成

旧洗心小学校について、周辺の地域コミュニティを維持し、交流促進につながるよう、今後の活用を検討していきます。

3-3 地域づくりの方針

(1) 拠点の方針

地域拠点： 葉山地区	○地区中央部に子育て支援施設及び日常生活に必要な施設が集積した利便性の高い拠点を形成します。
生活拠点： 両国地区	○富里南小学校区の地域コミュニティを維持していくための拠点を形成します。
生活拠点： 実の口地区	○浩養小学校区の地域コミュニティを維持していくための拠点を形成します。
観光・交流拠点	○競走馬のふるさと案内所や牧羊場跡のある両国地区は、馬文化とのふれあいの場として活用促進を図ります。 ○市営運動場は、健康増進・レクリエーションの場として機能充実を図ります。 ○旧洗心小学校周辺は、豊かな自然とのふれあいや、訪れる人々の憩いの場等としての活用を検討します。

(2) 土地利用の方針

住宅地・集落地	○両国地区や実の口地区などの農家住宅を中心とする集落地は、居住環境と営農環境の調和を図りつつ、地域コミュニティの維持に向けた住環境の維持・充実を図ります。 ○人口減少や高齢化の進行に伴い増加が見込まれる空き家について、適正な維持管理や移住・定住促進に向けた支援体制の充実を図ります。
産業地	○富里工業団地は、周辺環境との調和のとれた働きやすい環境の維持を図ります。
自然・農地	○畑地や水田などの農地については、農業生産基盤の充実を図るとともに、富里固有の環境資源や景観資源として土地の有効活用と美しい地域環境づくりに努めます。 ○耕作放棄地の拡大防止や農業者の高齢化対策として、農地の集積や農村環境の保全に努めます。 ○貸し農園や観光農園等の活用を促進し、農地の保全と地域振興を図ります。

(3) 都市施設の方針

交通施設	○農業や工業の中心となる南部地域と成田空港の南部を結び、産業振興や広域的な交流促進に資する幹線道路として、酒々井ICから工業団地を経由し芝山町を結ぶ道路（南部産業道路）の計画を関係機関と協議し、検討していきます。 ○生活道路については、舗装、線形、幅員等の改良に努めるとともに、交通安全対策を講じます。 ○公共交通については、既存バス路線の維持・拡充、さとバス・デマンド交通では、利用実態や利用者ニーズを踏まえた運行形態・路線の見直しに努めます。
供給処理施設	○公共下水道全体計画区域外については、合併浄化槽の設置促進を図ります。 ○市道については、路面排水施設の改善・整備を促進します。 ○市営水道については、安全で良質な水道水の安定供給に向け、管路の更新、耐震化を進めます。

